

大阪港湾局設計・施工技術連絡会議 議事録

工事名称	大正区鶴浜域内岸壁等背後地盤対策工事		
会議名称	第1回	大阪港湾局設計・施工技術連絡会議	
開催日時	令和6年 2月22日(木) 13:00~13:15		
開催場所	大阪港湾局第7会議室(ATCビル ITM棟10階)		
出席者 (役職・氏名)	発注者	建設コンサルタント	受注者
	【港湾局計画整備部保全監理課】 保全監理課長：田野 保全監理課長代理：原 設計担当課長代理：友田 担当係長：藤田(港湾工事) 小沢(設計)	【(株)東光コンサルタンツ】 担当技術者：入江、小林 (Web参加)	【(株)本間組】 現場代理人：石沢 監理技術者：斎藤
議題・議事の内容			
<p>○議題 改良対象地盤性状の変更及び効果について</p> <p>【大阪港湾局計画整備部保全監理課(設計)】</p> <p>・本工事は、令和5年1月23日付けで契約締結を行い、令和6年3月29日を工期として、鶴浜岸壁等の背後地盤の吸出し防止対策を行うための工事である。当初砂質土地盤と想定していた土層について、実際に現地を確認したところ、玉石混じり砂礫であることが判明した。</p> <p>まずは、現地の改良対象地盤が玉石混じり砂礫であることについて、受注者より説明願う。</p> <p>【(株)本間組】</p> <p>・施工前、地盤改良範囲内において、ボーリング及び試料採取を行い、改良対象地盤が玉石混じり砂礫であることを確認している。</p> <p>【大阪港湾局計画整備部保全監理課】</p> <p>・監督担当としても、事前調査時並びに施工業者より提出された資料等により現認している。</p> <p>・次に、改良対象地盤が砂質土地盤と想定した理由と、玉石混じり砂礫でも砂質土と同等の吸出し防止効果が当初設計と同工法で発揮できるかについて、コンサルタントとしての見解を伺う。</p> <p>【(株)東光コンサルタンツ】</p> <p>・埋立地を囲う新設護岸の背後に施工された裏埋砂であり、購入山砂であることを確認していたため砂質土地盤が妥当であろうと想定した。</p> <p>吸出し防止効果については、玉石混じり土にも対応可能な薬液注入工法であるダブルパッカ工法を採用しているため、砂質土と同等の吸出し防止効果が発揮できる。</p> <p>【大阪港湾局計画整備部保全監理課】</p> <p>・以上より地盤性状の変更及び地盤改良の効果について確認できた。</p>			
以上			